

## 2022年度 芸術工学実習 (D) 5 「場・空間・身体」

担当教員：岩間賢（愛知県立芸術大学美術学部准教授）

対 象 情報環境デザイン学科 学部3年生

場 所 A205室（授業毎ごとに異なります）

内 容 **あなたは 今 なにをつくりたいのか**  
**その根源は何か      その衝動は何か      その感激は何か      その記憶は何か**

本実習では、これまでの経験を基本にしながらも、自己の創作原点や手法を改めて問い、その深遠に迫る展開を考えたい学生に受講をしてほしいです。

課題を通じて、作品とは一体どういうことかを考え、切実に 大胆に 挑戦的に 取り組んで欲しいと思います。

**場 ・ 空間 ・ 身体** との関わりに **立脚** 或 **対峙** する作品づくりをおこなっていきます。

---

### 授業日程

#### 6月

1回目 17日（金） 13:00-16:10 **ガイダンス | 授業内容の説明、教員の作品紹介**

2回目 24日（金） 13:00-16:10 **課題1-1「ドローイング | わたし」**  
場 | ・拾う・集める・並べる・探す

#### 7月

3回目 1日（金） 13:00-16:10 **課題1-2「ドローイング | あなた」**  
身体 | ・触る・吹く・見ない

4回目 8日（金） 13:00-16:10 **課題2「ライブドローイング（個人+協働） | ひかり かげ」**  
空間 | ・ひらく・とじる

5回目 15日（金） 13:00-16:10 **課題3「ドローイングセッション（協働） | きくこと みること」**  
場 ・ 空間 ・ 身体 | ・授業選択学生がテーマをつくり取り組む  
\* 講評に向けて個々の思索していることを口頭発表する

6回目 22日（金） 13:00-16:10 **課題4「ドローイング | 出会いをもとめて」**  
\* 講評に向けて試作の一部を実演 或 実験として発表する

7回目 29日（金） 13:00-16:10 **講 評 （\*作品の実装形式や素材は問わない 初日に説明）**

### 連絡事項

- ・ 講評会で発表する作品は、授業時間外にも自主的に制作を進めていくこととなる。
- ・ 屋内外で授業をおこなうため、動きやすく汚れても良い服装や靴。飲み物やタオル、虫除けなどを用意すること。
- ・ 制作に必要な材料や道具など各自で用意すること。（授業初日に説明あり）

### 採点基準

- ・ 課題1、2、3、4への取り組み方と出席状況
- ・ 個人制作における切実度、大胆度、挑戦度および作品の実装状態